

2020年9月28日

各位

株式会社 紀陽銀行

**レンゴー株式会社向け「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の
シンジケートローン参加について**

株式会社紀陽銀行（頭取：松岡 靖之）は、レンゴー株式会社（代表取締役社長兼COO：川本 洋祐）を借入人とする「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」のシンジケートローンに参加しましたのでお知らせいたします。

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、国連環境計画金融イニシアティブ（※1）が提唱するポジティブ・インパクト金融原則（※2）に則したファイナンス手法で、企業活動が環境・社会・経済にもたらすインパクトを包括的に分析・評価し、当該活動を継続的に支援していくことを目的としています。

レンゴーグループは、より少ない資源で大きな価値を生むパッケージの開発に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献されています。当行は本シンジケートローンへの参加により、レンゴーグループのSDGs（持続可能な開発目標）達成に向けた取り組みを支援します。

紀陽銀行は、2019年3月に表明した「紀陽銀行 SDGs宣言」に基づき、今後も地域金融機関としての事業活動を通じてSDGsの達成に貢献し、地域社会とともに持続的に成長していくことをめざします。

【本シンジケートローンの概要】

借 入 人	レンゴー株式会社
契約締結日	2020年9月28日
組 成 金 額	50億円
資 金 使 途	運転資金
アレンジャー	三井住友信託銀行株式会社

※1 国連環境計画金融イニシアティブ

国連の補助機関である国連環境計画と世界の金融機関による広範で緊密なパートナーシップ。1992年の設立以来、金融機関、政策・規制当局と協調し、経済的発展とESG（環境・社会・企業統治）への配慮を統合した金融システムの転換を進めている。

※2 ポジティブ・インパクト金融原則

国連環境計画金融イニシアティブが2017年1月に策定した、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた金融の枠組み。企業がSDGsの達成への貢献をKPIで開示し、銀行はそのプラスの影響を評価して資金提供をおこなうことにより、資金提供先企業によるプラスの影響の増大、マイナスの影響の低減の努力を導く。

以 上

本取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」につながる取り組みです。

